

疾患名：切除不能な進行再発胃がん 1クール：35日(少なくとも3週休薬) 総クール数：PDまたはPS悪化まで

1. 薬剤

抗癌剤一般名	商品名	標準投与量	投与日	用量規制毒性
イリノテカン	イリノテカン塩酸塩	150 mg/m ²	Day1, 15	骨髄抑制(白血球減少) 下痢

2. レジメン

投与日	Rp	投与方法	投与時間	使用薬剤名	標準投与量	備考
Day1, 15	1	点滴静注	キープ&フラッシュ用	生食 100mL		血管外漏出・逆血予防のルート確認 ケモ終了時ルートのフラッシュ用にも使用する ※全量投与しなくてもよい
	2	点滴静注	30分	ハロ/セトロン(0.75mg/5mL)	1V	
				デカドロン(3.3mg/1mL)	3A	
生食 50mL						
3	点滴静注	90分	イリノテカン塩酸塩	150 mg/m ²	直射日光を避けること	
			(40 mg/2mL) (100 mg/5mL)			
生食 500mL						

3. 初回投与基準・次クール開始基準(2クール目以降、投与前日又は当日に下記条件を満たさない場合は延期する)

- (1) PS規定: PS 0、1、(2)
- (2) 白血球数 $\geq 3000/\mu\text{L}$ 、血小板数 $\geq 10\text{万}/\mu\text{L}$ 、好中球 $\geq 1500/\mu\text{L}$
- (3) 発熱、CRP上昇あるいは白血球増加($\geq 12000/\mu\text{L}$)等の感染兆候なし
- (4) 総ビリルビン $\leq 1.8\text{ mg/dL}$ AST、ALT ≤ 100
- (5) 下痢(水様便)、腸管麻痺、腸閉塞、胆汁排泄障害なし
- (6) 多量の腹水、胸水なし

4. 減量・中止基準 (前クール投与後に下記のいずれかに該当した場合は減量する)

- (1) グレード3の白血球減少($2,000/\text{mm}^3$ 未満)、好中球減少($1,000/\text{mm}^3$ 未満)あるいは下痢(水様便)が認められた場合には、副作用の回復を確認後、投与量を20%~25%減量して投与すること
- (2) グレード4の白血球減少($1,000/\text{mm}^3$ 未満)、好中球減少($500/\text{mm}^3$ 未満)あるいは下痢(出血、脱水、電解質異常を伴う)が認められた場合には投与を中止すること

5. 投与時の注意点

- (1) 血管外漏出に注意すること (潰瘍形成には至らないが局所での炎症を起こすことがある)
- (2) イリノテカンは光に不安定なので直射日光を避けて投与すること
- (3) イリノテカン投与後は適切な排便を促し、そのうえで下痢が続くようであれば下痢止めを使用する